

区局・中間支援組織と連携した地域支援の取組（アプローチ型支援）について

推進委員会でいただいたご意見を踏まえ、平成 28 年度以降、新たな施策の推進や地域支援のあり方について議論をいただき取組を進めてきました。平成 28、29 年度は南区・瀬谷区をモデルとして地域に直接アプローチを行う方策を検討してきたが、平成 30 年度は、地域の課題を把握する区局・中間支援組織を対象にアプローチする取組が有効と考えて新たな取組を進めてきました。

平成 31 年以降も上記取組を推進していきます。

1 取組実績と成果

ア 平成 28 年度から、南区と瀬谷区の 2 区について区内各部門や中間支援組織とソフトとハードの連携について取組を進めてきた。南区では連携を深めてきた地域ケアプラザを窓口とした地域まちづくり課の制度を活用したハード整備が実現した。（右ページ参照）また瀬谷区では人材発掘や助け合いのシステムづくりが行われ、他区でも展開が広がった。さらに旭区や泉区等とも意見交換を進めている。

イ 平成 28 年度より実施している地域まちづくり課の制度や事例を紹介する研修について、対象を区局職員や社会福祉協議会、地域ケアプラザ職員に加えて、区民活動支援センターや地区センター、コミュニティハウス職員も対象に加えることで、より広い主体に地域まちづくり制度の周知を行った。

ウ 他区局が実施する研修にて地域まちづくり制度の説明を行い、さらに地域ケアプラザ等への出前塾を積極的に実施することで、ハードのまちづくり事例や制度について周知を広げた。（別紙）

エ 市民局の地域活動・市民活動部門や健康福祉局の地域福祉部門とは、全市民的な視点での課題の共有や地域支援のあり方について引き続き検討を進めている。また、健康福祉局地域包括ケア推進課、こども青少年局、教育委員会事務局といったその他のソフト局とも、研修の連携や地域支援についての連携を進めた。

オ 地域交通サポート事業を主管する道路局や空家対策を進める建築局など、他制度とまちづくり制度の連携について検討をすすめ、地域への支援の連携を図った。

2 平成 31 年度以降の進め方

ア 地域福祉保健計画を推進する団体の活動とハードのまちづくり活動が連動できるよう、健康福祉局や区の地区支援チームとの連携をさらに推進します。

イ 地域支援を行う市職員や中間支援組織が参加する研修の機会をとらえハードのまちづくりの制度や事例の周知を行うことで、ハードも含むまちづくりのすそ野を広げる。

ウ 上記研修等で課題を持つ区や地域の中間支援組織等と関係性をつくり、南区の事例等を共有しながら積極的にアプローチを行うことで、区や市の制度を使用してより具体的にまちづくりを進めていけるようにサポート・コーディネートを行う。

エ 健康福祉局や市民局といったソフト局と引き続き連携をし、ソフトとハードの包括的な地域支援についての方向性を検討し、各局が所管する中間支援組織（市民・地区センター等、健福・地域ケアプラザ等）と連携した具体的なまちづくりの進め方を共有する。さらに、区のまちづくり調整担当がこれらの取組を主体的に取り組めるよう、情報共有・支援を行う。またハード整備の制度を持つ部局とも引き続き連携を行うことで、お互いの制度の周知や連動について検討を行う。

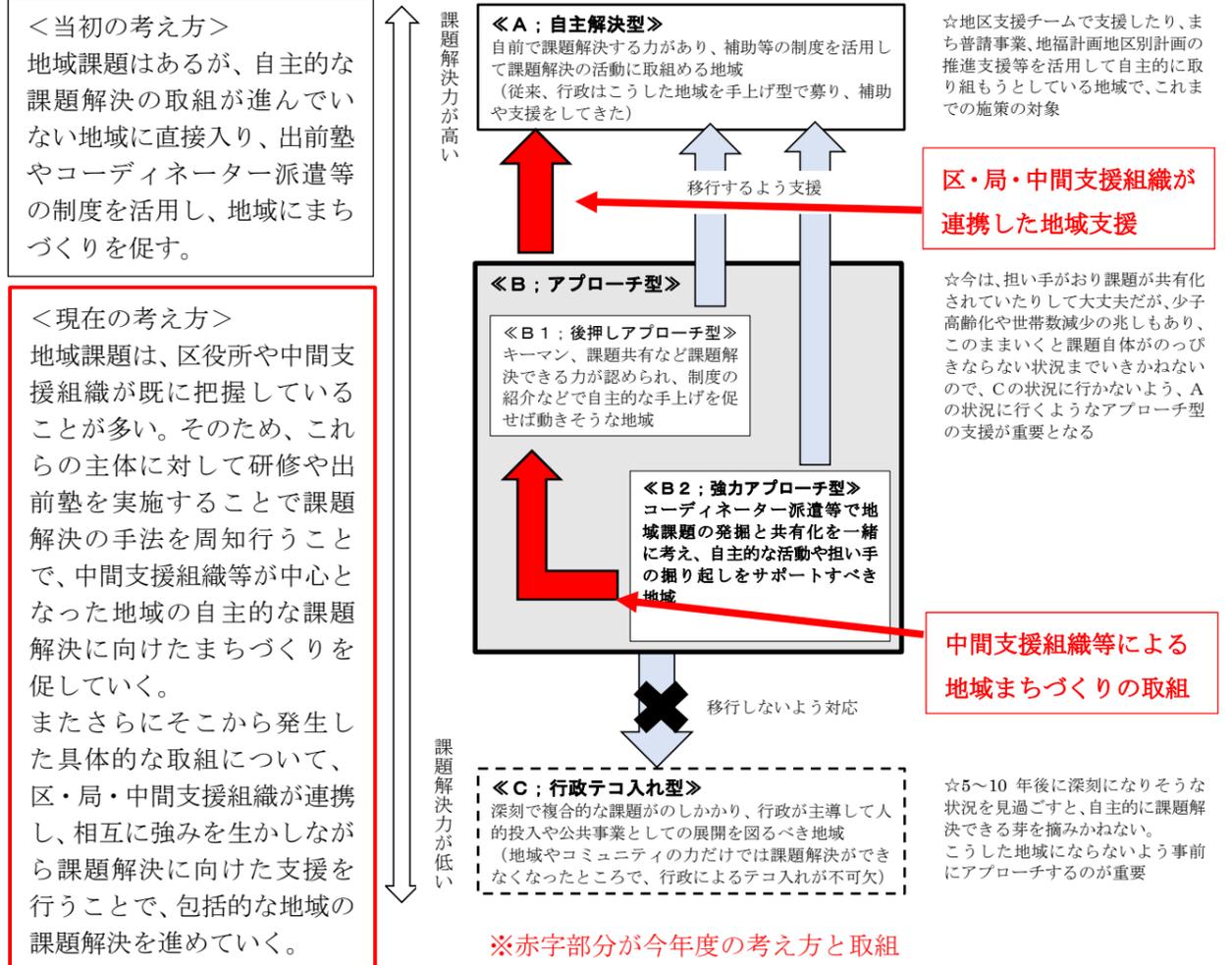
オ 横浜市のホームページ改定の機会をとらえ（平成 31 年 4 月より）、ホームページも活用したハード整備の事例を広く紹介したツールの作成を検討する

参考 アプローチ型支援の実績（南区中村地区）



平成 28 年にアプローチ型支援検討の一環としてヒアリングを行い、その後もハードのまちづくりについて相談を受けていた中村地域ケアプラザからの発意。地域ケアプラザが子育て世代の団体から、「地域の居場所づくりをしたい」と相談を受けており、地域まちづくり課より制度について出前塾を行った。それをきっかけに平成 30 年度のヨコハマ市民まち普請事業への挑戦し、採択される。平成 31 年に空き家を活用した多世代交流拠点を整備予定。

参考 アプローチ型支援のイメージ（第 38 回地域まちづくり推進委員会の資料を参考に作成）



平成 30 年度の区局連携

1 局間連携

市民局	研修の共同開催、地域支援へのあり方検討、協働・共創ルームの検討 等
健康福祉局	研修の共同開催、地域福祉保健計画と都市計画マスタープランとの連携、介護拠点整備事業との連携、介護予防・日常生活支援総合事業との連携 等
総務局	研修での連携
こども青少年局	子育て支援拠点との連携検討
環境創造局	地域緑のまちづくりの説明会でのまち普請の周知連携
建築局	空家対策事業との連携、イベントでの各制度の周知
教育委員会事務局	研修での連携、学校・地域コーディネーターとの連携

2 主に実施した研修等について（全 48 回、参加者約 1,800 人）

ア 地域まちづくり課主催研修（全 2 回、総参加者 130 人）

- ・地域まちづくり支援制度活用研修

地区センター、コミュニティハウス、区民活動支援センターへ対象を拡大

イ 出前塾（全 9 回、総参加者 150 人）

まち普請事前相談、地域ケアプラザやケアプラザ運営法人向けの出前講座を実施

ウ 他局と連携した研修（全 16 回、総参加者 1,400 人）

- ・職員向け研修

協働入門研修、健康福祉局事業企画担当者研修、地域力推進研修等、主に区の福祉・地域支援業務に携わる研修にて制度の説明を実施

- ・中間支援組織向け研修

ケアプラザや社協のコーディネーター向け研修にて制度の説明を実施

- ・その他研修

教育委員会主催の教員向けや学校・地域コーディネーター向け研修での事例紹介、総務局主催防災・減災研修での制度説明、地域づくり大学校での制度説明等を実施

エ 区役所向け研修（全 5 回、総参加者 140 人）

青葉区、栄区など 5 区へ区役所地区支援研修にて制度の説明を実施

区局・中間支援組織と連携した地域支援の取組（アプローチ型支援）推進状況

